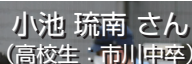




議会だより

2021 年 8 月 1 日発行



令和3年
6月定例会

山梨県市川三郷町

- 条例の改正・・・・・・・・・・・・・P2
- 令和２年度一般会計補正予算・・・P3
- 令和３年度一般会計補正予算・・・P4
- 議会の構成・・・・・・・・・・・・・P5
- 常任委員会報告・・・・・・・・・・・・・P6～7
- 一般質問２議員　町政を問う　P8～9
- 組合議会報告・・・・・・・・・・・・・P10～11
- 組合議会の概要・・・・・・・・・・・・・P12
- 広域ごみ処理基本構想・・・・・・・・・・・・・P13
- 討論・審議結果・人事・・・・・・・・・・・・・P14
- 議会モニター意見・・・・・・・・・・・・・P15
- みんなのページ・編集後記・・・・・・・・・・・・・P16

補正前総額	111億2623万円	令和2年度 一般会計補正予算 (万円未満は四捨五入)
歳入歳出補正額	△2752万円	
補正後総額	110億9871万円	

歳入の主な補正の内訳

地方譲与税	+715万円	寄付金	
株式等譲渡所得割交付金	+490万円	(ふるさと納税額の確定)	+1536万円
地方消費税交付金	+3743万円	*年度合計額は3億9536万円	
地方交付税	+964万円	繰入金	△9884万円
国庫支出金		町 債	△1080万円
(ワクチン接種事業費の確定) △326万円			

歳出の主な補正の内訳

総務費		教育費	
補助金・負担金の確定	△515万円	修繕費・補助金の確定	△400万円
衛生費		公債費	
ワクチン接種事業費の確定	△445万円	利子の確定	△148万円
農林水産業費		諸支出金	
委託料・工事請負費の確定	△911万円	積立金の確定	+503万円
土木費			
工事費・委託料の確定	△834万円		

- *繰入金…会計の収入不足を補うために、他の会計や積立金（基金）から充てられる資金。
- *繰出金…主に一般会計から特別会計に対して、不足を補うために支出する資金。
- *金額の+表示は予算の増額。△表示は予算の減額。

補正予算とは、当初予算に対する国・県の補助金等の変動や緊急やむを得ない支出に対応するため、必要に応じて予算の追加その他の変更を行うものをいいます。国や県の制度を活用し、少しでも有利な財源を確保しての予算の見直しを一年を通して繰り返しています。

今回の令和2年度分の補正予算は、交付金や寄付金等の収入額及び工事費や委託料等支出額の年度末の確定に伴うものです。

条例の改正

条例の改正 6件

- 税条例等の改正**
- 税条例の改正**
- 都市計画税条例の改正**

地方税法等の一部を改正する法律及び施行令等の一部改正に伴う改正。
- 国民健康保険条例の改正**

新型コロナウイルス感染症の定義を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の引用に改めるための改正。
- 国民健康保険税条例の改正**
- 介護保険条例の改正**

新型コロナウイルス感染症の定義を改め、また新型コロナウイルス感染症の流行に収束の兆しが見えないことから、令和3年度も引き続き減免措置を講じるための改正。

令和3年第2回（6月）定例会は、6月3日から16日までの14日間（予備日・休会日含む）にわたり開催されました。
今定例会では、報告2件、承認6件、条例の改正4件、令和3年度一般会計・特別会計補正予算9件、その他3件が提出され、いずれも原案のとおり承認、可決、同意されました。また、請願1件が採択となりました。

選挙運動費用の公費負担拡大

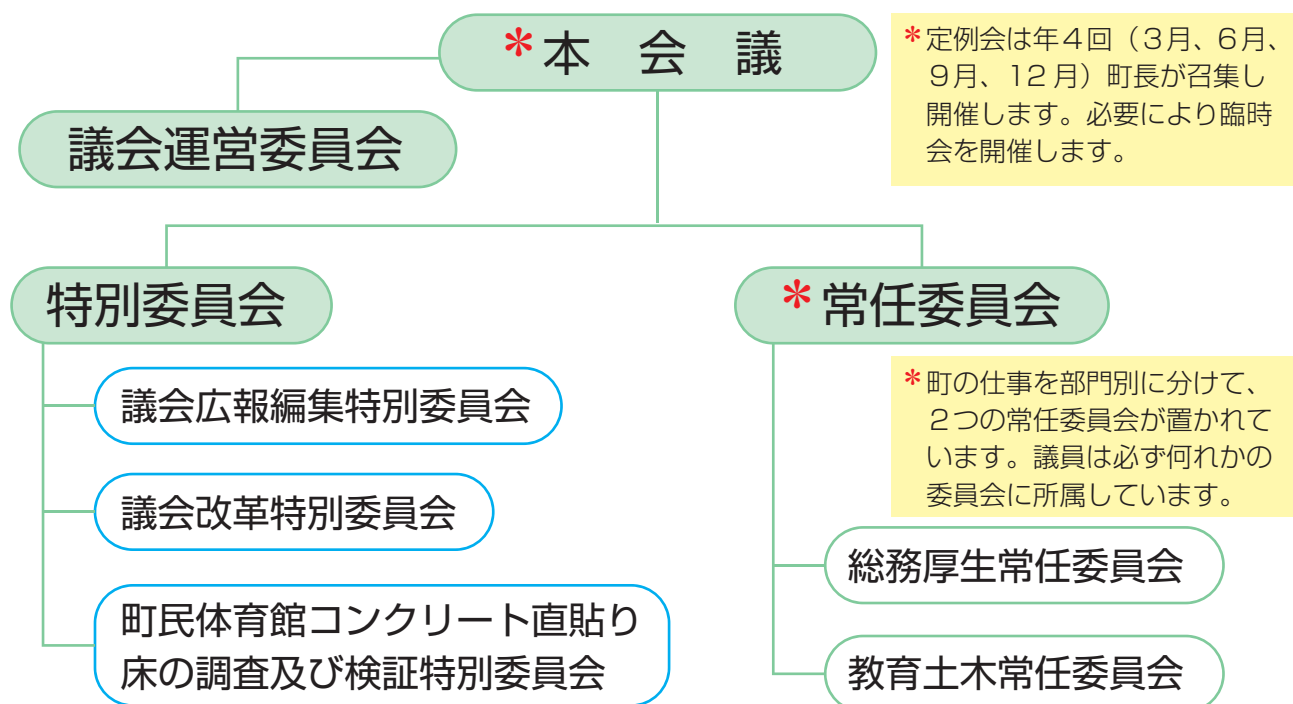
町村の選挙における立候補環境改善を図るための公職選挙法の一部改正に伴い、本町でも前回の3月議会で「町議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」を制定し、選挙運動費用の一部を町が負担することとなりました。

また、選挙公営（公費負担）の対象拡大に伴い、町議会議員選挙の立候補に供託金制度が導入されました。

選挙区分		町議会議員	町 長
公営（公費負担）の有無	選挙運動用自動車	× ⇒ ○	× ⇒ ○
	選挙運動用ポスター	× ⇒ ○	× ⇒ ○
	選挙運動用ビラ	頒布不可 ⇒ 頒布解禁 (公営対象)	× ⇒ ○
	*供託金額 (立候補の際に納入する金額)	無し ⇒ 供託金導入 15万円	50万円

- *候補者の得票数が一定数（供託金没収点）に達しない場合、供託金は没収となり公費負担の対象外となります。
- 町 長 選 挙：有効投票総数 ÷ 10
- 町議会議員選挙：有効投票総数 ÷ 議員定数（14名）÷ 10

議会の構成



* 定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）町長が召集し開催します。必要により臨時会を開催します。

* 町の仕事を部門別に分けて、2つの常任委員会が置かれています。議員は必ず何れかの委員会に所属しています。

〈常任委員会の委員構成〉 ◎＝委員長 ○＝副委員長

総務厚生常任委員会

◆所管 総務課、政策秘書課、町民課、税務課、いきいき健康課、財政課、福祉支援課、保育課、議会事務局、出納室、三珠支所及び六郷支所



○齋藤美佐 さいとう みさ たかお とおる かさい ゆういち たんざわ たかし かわさきみつあき あきやまのりき いちのせ ただし
高尾 貫 笠井雄一 ◎丹澤 孝 川崎充朗 秋山詔樹 一瀬 正

教育土木常任委員会

◆所管 防災課、農林課、商工観光課、生活環境課、土木整備課、まちづくり推進課及び教育委員会



あきやま とよひこ かさい たつお おがわ よしかず ありいずみ たかし まつの きよたか みかみ さだお むらまつ たけひと
秋山豊彦 ○笠井辰生 小川好一 ◎有泉 希 松野清貴 三神貞雄 村松武人

令和3年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

補正前総額 94億3053万円
歳入歳出補正額 +4804万円
補正後総額 94億7857万円

歳入の主な補正の内訳

分担金及び負担金

中学生の給食費無償化による
給食費負担金の減額 △2053万円

国庫支出金

子育て世帯生活支援特別給付金
+1330万円

県支出金

商業活性化支援事業補助金 +33万円

財産収入

出えん金返還 +150万円

繰入金

財政調整基金から +1496万円

諸収入

分譲地販売収入 +948万円

町 債

新自治公民館建設に充てる過疎対策事業債
+2830万円

歳出の主な補正の内訳

総務費

公共施設等総合管理計画改訂業務委託料
+600万円

民生費

低所得子育て世帯生活支援特別給付金
+1330万円

教育費

新自治公民館建設工事設計業務委託料
+496万円

新自治公民館建設土地購入費
+2532万円

商工費

空き店舗活用チャレンジショップ
事業費補助金 +100万円

感染防止対策施設設備改修等支援
事業費補助金 +460万円

地域力創造アドバイザー報償金
+560万円

神明の花火PR事業委託料
+129万円

歌舞伎文化公園管理特別会計繰出金
+378万円



常任委員会 報告

質疑の一部を
要旨のみ掲載します

総務厚生常任委員会

開催日
6/4

過疎対策事業債

問 公民館建設事業費として過疎対策事業債2830万円が計上されているが、当初予算ではなく補正予算に計上した理由は。

な発展を考えての事業執行と財源確保に努めている。各種財政指標にも、注視しながら健全性を保っている。

財産管理費

問 「公共施設等総合管理計画」改訂業務に対する職員の認識は。

財政課長 現在の計画は平成29年5月策定である。改訂業務については、全課が共通認識、問題意識を持って取組んでいく。

財政健全化

問 実質公債費比率及び将来負担比率の増加、実質単年度収支が3年連続赤字だが財政状況は。

町長 現在、早期健全化基準の範囲内にある。将来的

低所得者子育て世帯生活支援特別交付金

問 生活支援の対象者は何か。

望月いきいき健康課長 206名である。

国民健康保険特別会計

問 国民健康保険一体化等の流れはどうなっているのか。

丹沢町民課長 市町村が個別に運営してきた国民健康保険制度が、平成30年度から、県が市町村と一体となつて県単位での運営を担うこととなった。

県内の統一的な方針として示された「運営方針」に基づき、令和12年度を目標とする保険料水準の統一等に向けた具体的取組みが順次進められている。

介護保険特別会計

問 介護保険特別会計は一般会計からの繰入金で、その不足分を補填する額が大きいと思うが、一般会計への繰り戻しは行っているのか。

町民課長 年度末決算で余剰金がある場合は、一般会計に戻す処理を行っている。



教育土木常任委員会

開催日
6/9

空き店舗活用チャレンジショップ事業費補助金

問 対象となる事業の概要は。

塩沢商工観光課長 平成29年度開始の事業。今回は市川地区の空き店舗を活用して雑貨店を開設する事業に対する補助である。

昨年、六郷地区の空き店舗を活用して革製品の店を開設した事業への補助実績がある。
補助額の上限は、事業費の2分の1または100万円。

消防費

問 消防団員の報酬の見直し予定は。

林防災課長 来年度から実施できるように検討する。

地域力創造アドバイザー報償金

問 具体的にはどのような取組みをするのか。

商工観光課長 本町の伝統的な産業である花火・和紙・印章、また、大門碑林公園、歌舞伎資料館、みたまの湯などの観光資源を活用した観光施策に関して、専門家の指導・助言を受けながら、地域独自の魅力、価値、地域力向上のための取組みを行う。今年度の新規事業。

四尾連自治公民館改修費補助金

問 改修工事の概要は。

森川生涯学習課長 トイレ洋式化と玄関改修工事である。
補助額の上限は、事業費の3分の1または30万円。

新自治公民館建設関連

問 新自治公民館建設に関する概要は。

生涯学習課長 建設場所は、市川大門南線沿いの市川大門郵便局前の分譲地。地域で使用してきた中地区公民館は耐震面から取り壊した。地域からの強い要望を踏まえ、コミュニティ維持の観点から総合的に判断した。

今回は、土地購入費及び建設費試算のための設計業務委託料を予算計上した。財源は、条件の良い過疎対策事業債を活用する。



問 今回定められた「町自治公民館等の建設及び設置に関する要綱」の骨子は。

生涯学習課長 他自治体と同様に、「条例」ではなく「要綱」として定めた。骨子は以下である。

○設置数は、1行政区につき1施設を原則。

○構造は、木造平屋建てを基本。

○建築面積は、地域の人口ごとの基準による。

○建設事業費は、国または県の補助事業、交付税措置がある町債事業等を活用する。ただし、これらにより難しい場合は、町長期計画等に則り財政負担等を考慮し可否を検討する。

○建設にあたっては原則として地元住民から負担金を徴収しない。ただし、寄付の申し出は妨げない。

役場会議室を町図書館市川分館として活用を

——町会議室は利用頻度が高く
用途変更は困難——



いちのせ 正 議員

《質問項目》

1. 役場本庁舎一階会議室を町立図書館市川分館にする提言。
2. 芦川橋架け替え工事計画の進捗と急カーブ、急勾配の2本の町道の改修計画は。
3. 高齢者の声を聴く機会を作り、高齢者の自立を支援する公共交通網の整備、充実のための改善策の検討を。
4. 町の歴史を残すための組織づくりを。
5. 高齢者のための緊急連絡の改善策は。
6. 碑林公園の観光宣伝策と源氏の館、弓道場の活用策など、運営改善や宣伝、活用策は。
7. 町内の川のゴミの除去や町道の小さなキズの修繕などを行える職務の職員の配置を。

《質疑概要》

問 町立図書館が移転し、遠くなった地域がある。役場本庁舎に図書館の分館設置を。

町長 新図書館本館は、文化と交流の発信拠点として生涯学習センター内に設置した。

施設利用の利便性を高める対策として、コミュニティバスのルートを延伸、変更した。

問 町会議室は利用頻度が高く、用途変更は困難である。

町長 芦川橋の工事期間は令和3年6月より令和8年迄の5年間を予定。今年度は現在の左折レーン部分を撤去し、新しい橋台の設置工事等を行う。

2本の町道の改修方策については、県峡南建設事務所と協議中である。

問 高齢者の声を聴き、自立支援に関する改善策の検討を。

町長 民生委員の訪問や声掛けを通じて高齢者の声を聴き、必要に応じて関係課に報告がある。また、福祉支援課や社会福祉協議会では随時相談を受けている。コミュニティバスの運行面の改善点等については、「コミュニティバス庁内検討委員会」で調査・検討している。

問 町の歴史資料などの文化財を残すための組織づくりを。

町長 条例に基づき「文化財保護審議会」に15名の委員を委嘱している。また、民間では複数のグループが研究成果を発表している。今後、歴史資料等の研究や収集に係る組織づくりにについても、これらの組織の協力を得る中で検討する。

森川生涯学習課長 5月末に、生涯学習センターで保管する書画等の画像つき目録作りを、民間グループの協力を得て行った。

問 防災無線の緊急連絡が、特に高齢者には聞き取り難い。改善策は。

町長 現在の防災行政無線は、整備後13年が経過しており、修繕整備をしながら運用している。

難聴地域などの55カ所に「個別受信機」を設置した。今後も必要な地域には整備を検討する。

問 大門碑林公園等の利用促進に向けた取り組みは。

町長 大門碑林公園、文化と武道の館・愛称「源氏の館」及び弓道場（源氏の館南側）の利用促進に向けて、関係団体や利用団体との協議により活性化策を検討する。

問 町内の川や町道等の軽微な改修等に即応できる専門職員の配置を。

町長 会計年度任用職員（臨時職員）の採用条件を満たす応募者がいないのが実情である。引き続き人材確保に努める。

《質問項目》

1. * SDGsの推進について
2. * さくらねこTNR事業について
3. 防災力、減災力、複合災害への対応力について
4. 若者支援について
5. 高齢者の支援について

《質疑概要》

問 SDGsについての職員の研修、町民への周知は。

町長 職員全員の研修を計画している。

広報・ホームページ等で周知し、職員も地域住民も全員で未来の市川三郷町をつくっていききたい。

問 啓発に向け、高齢者にも分かりやすいリーフレットの作成、懸垂幕掲示、SDGsコーナーの設置等は。

井上政策秘書課長 前向きに検討していく。

町のSDGs缶バッジもPRの一環として活用する。

問 公益財団法人どうぶつ基金が手術費等を全額負担する「さくらねこ無料不妊手術」への参加は。

町長 参加を含め、県と協力する中で、地域全体で殺処分ゼロを目指す事業の調査・研究を進める。

問 5月20日の災害対策基本法改正により、行政が発令する避難情報のうち、「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化された。町民への周知は。

町長 ホームページ、町のLINE、フェイスブック、回覧板、広報紙への掲載を行った。自主防災会等の協力を得て機会あるごとに周知していく。

問 自力での避難が難しい高齢者や障がい者のための個別避難計画策定の進め方は。

町長 優先度が高い方から順次計画策定を進めていく。

問 町と高齢者施設との連携は。

桜井福祉支援課長 「避難確保計画」を作成する事になっており、施設との運営推進会議で避難方法や訓練の状況等の確認を行っている。

問 災害時備蓄品のより効率的な備蓄計画の策定は。

町長 日常生活で消費しながら使用分を買い足すことで、常に一定量を備蓄する方法である「ローリングストック」方式を導入し、食料品等の協定締結等効率の良い備蓄計画を検討する。家庭への啓発も行っていく。

問 働く若者への奨学金返済支援の考えは。

町長 先進事例を調査し本町の今後を見据えた支援等を検討していく。

問 現在88歳以上に配布している福祉タクシー券の年齢引き下げの考えは。

町長 町の交通施策全体の問題として捉え、コミュニティバスなど公共交通網の整備等と連携し引き続き検討していく。

SDGsの推進へ、町の取り組みは

——*「SDGs 未来都市」の認定を目指す——



SDGs 缶バッジ

さいとう 美佐 議員

* SDGs よりよい世界を目指す国連の持続可能な開発目標。基本理念は「誰一人取り残さない」

* SDGs 未来都市 内閣府がSDGsの達成に向けた取り組みを応募し、優れた提案をする自治体を選定する制度

* さくらねこTNR事業 飼い主不明の野良猫をTNR (Trap-Neuter-Return) 捕まえる

N neuter (去勢手術) 不妊、去勢手術してさくら猫のしるしに猫の耳先をVカット

R return (リターン) 元の場所に戻す

TNRを行う事で繁殖を防止し一代限りの命を全うさせ、猫の殺処分ゼロを目指す活動

組合議会の報告

(万円未満は四捨五入)

三郡衛生組合

第1回定例会 3月29日

提出議案は、専決処分案件1件、人事案件1件、令和3年度当初予算3件の計5件で、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 笠井 辰生)

令和3年度 当初予算

一般会計	2655 万円
本町の負担金	409 万円
し尿処理特別会計	3 億 18 万円
本町の負担金	4433 万円
火葬事業特別会計	3 億 8221 万円
本町の負担金	1945 万円

峡南広域行政組合

第1回定例会 3月25日

提出議案は、契約の締結1件、条例の改正1件、令和2年度補正予算3件、令和3年度当初予算5件で、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 松野 清貴)

令和3年度 当初予算

一般会計	13 億 6691 万円
本町の負担金	3 億 5830 万円
介護保険特別会計	2 億 1506 万円
ふるさと市町村圏特別会計	649 万円

中巨摩地区広域事務組合

3月定例会 3月26日

提出議案は、令和2年度一般会計及び特別会計補正予算5件、令和3年度一般会計及び特別会計当初予算6件の合計11件で、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 小川 好一)

令和3年度 当初予算

一般会計	4962 万円
本町の負担金	338 万円
ゴミ処理特別会計	12 億 9222 万円
本町の負担金	6953 万円
地域公園特別会計	1271 万円
本町の負担金	71 万円
老人福祉特別会計	3137 万円
本町の負担金	228 万円
勤労青年センター特別会計	4726 万円
本町の負担金	446 万円
し尿処理特別会計	2 億 6460 万円
本町の負担金 (本町対象外)	0 円

峡南衛生組合

第1回定例会 3月24日

提出議案は、条例の制定2件と改正2件、令和2年度一般会計補正予算1件、令和3年度一般会計当初予算1件の計6件で、いずれも原案どおり可決されました。

(報告 秋山 豊彦)

峡南医療センター企業団

第1回定例会 3月26日

提出議案は、条例の改正1件、令和3年度一般会計予算1件の計2件で、いずれも原案どおり可決されました。

病院事業

事業量の見込みを、2病院(市川三郷病院・富士川病院)の合計として病床数248床、年間入院患者数5万735人、年間外来患者数11万7210人などとするもの。

介護老人保険事業

事業量の見込みを、2老健(ケアセンタ―いちかわ・サンビューふじかわ)の合計として、入所定員170人、通所定員42人、年間入所者数5万8400人、年間通所者数8646人とするもの。

収益的収入及び支出

2病院の合計額として、病院事業収益40億6169万円、病院事業費用40億250万円。2老健の合計額として、介護老人保健施設事業収益9億2230万円、介護老人保健施設事業費用9億7141万円とするもの。

資本的収入及び支出

2病院の合計額として、病院事業資本的収入及び支出とも2億9916万円。2老健の合計額として、介護老人保健施設事業資本的収入及び支出とも7734万円とするもの。

(報告 有泉 希)

山梨西部広域環境組合議会

第1回定例会 3月30日

提出議案は、専決処分1件、人事案件1件、令和2年度補正予算1件、令和3年度一般会計当初予算1件の計4件で、いずれも原案どおり可決、同意されました。

(報告 丹澤 孝)

令和3年度 一般会計予算

一般会計	1 億 8577 万円
本町の負担金	478 万円



広域ごみ処理施設整備構想の概要

〈県ごみ処理広域化計画の概要〉

○県内の家庭ごみ処理施設を3ブロックに集約する

A：峡北・中巨摩・峡南地域

B：郡内地域

C：甲府・峡東地域（稼働済み）

○Aブロックの参加11市町で「山梨西部広域環境組合」を令和2年2月1日設立

山梨西部広域環境組合において「ごみ処理施設整備基本構想」が策定され、令和13年（2031年）4月稼働に向けた施設整備スケジュール等が示されました。

○予定地 中央市浅利地区の国道140号線沿いの大塚地区に隣接する農地約6ha

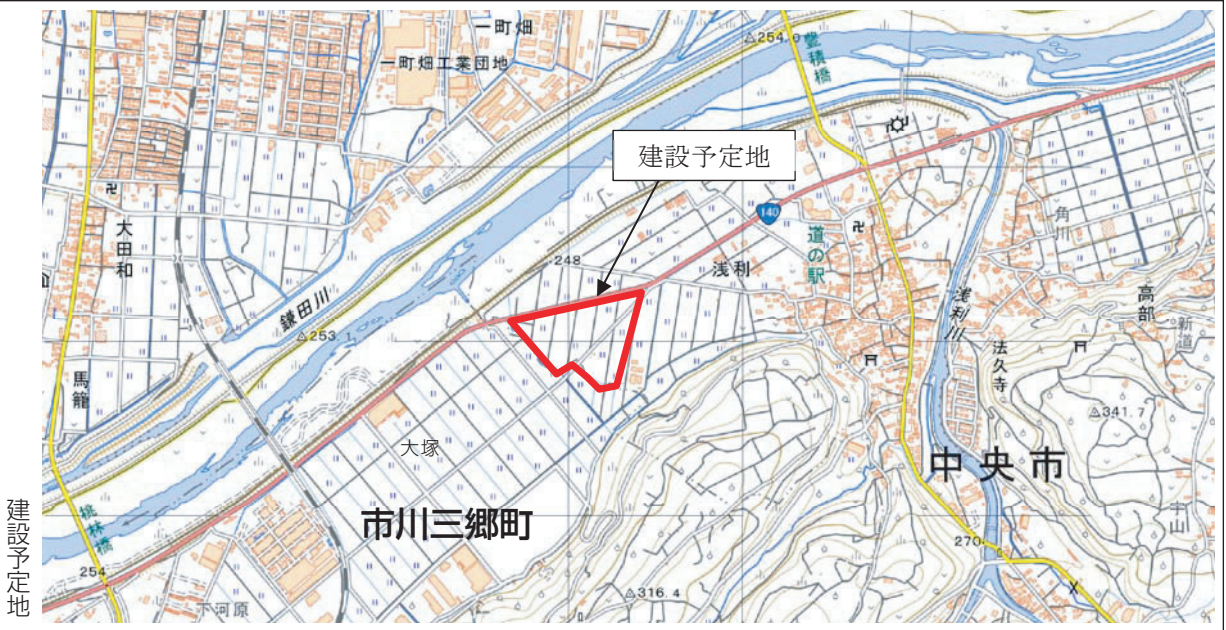
○基本方針

- ・ごみを安全かつ安定的に処理できる施設
- ・適切な環境保全対策を講じた施設
- ・エネルギーの有効利用と資源循環に優れた施設
- ・経済性に優れた施設
- ・地域住民に開かれた施設

○建設費概算 約337億円

○処理量概算 約361トン／日

施設整備スケジュール												
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
広域ごみ処理施設整備構想												
循環型社会形成推進地域計画												
環境影響調査												
測量・地質調査												
ごみ処理方式検討及びPFI等導入可能性調査												
施設基本設計												
造成設計												
発注仕様書作成												
造成工事												
施設詳細設計												
施設建設工事												
施設供用開始												



広域行政事務組合の概要

組合名	構成自治体	主な業務	市川三郷町 組合議会議員
		事務所所在地	
三郡衛生組合	・市川三郷町 ・南アルプス市 ・中央市 ・富士川町 ・昭和町	・し尿処理業務 ・火葬場 *対象は、市川・三珠地区	・一瀬 ・三神 ・齋藤 ・笠井（辰）
		南アルプス市東南湖 1080	
峡南広域行政組合	・市川三郷町 ・早川町 ・身延町 ・南部町 ・富士川町	・老人ホーム・介護 ・障がい認定 ・消防・情報センター	・秋山（詔） ・村松 ・松野
		市川三郷町岩間 495	
中巨摩地区広域事務組合	・市川三郷町 ・南アルプス市 ・甲斐市 ・中央市 ・富士川町 ・昭和町	・ごみ処理 *対象は、市川・三珠地区	・笠井（雄） ・小川
		中央市一町畑1189	
峡南衛生組合	・市川三郷町 ・早川町 ・身延町 ・南部町	・ごみ処理・し尿処理業務 ・火葬場 *対象は、六郷地区	・川崎 ・秋山（豊）
		身延町下田原2548	
山梨県後期高齢者医療広域連合	県下全 27 市町村	・後期高齢者医療制度運営	・高尾
		甲府市蓬沢一丁目 15 番 35 号	
峡南医療センター企業団	・市川三郷町 ・富士川町	●病院 ・市川三郷病院 ・富士川病院 ●介護老人施設 ・ケアセンターいちかわ ・サンビューふじかわ	・秋山（詔） ・村松 ・松野 ・有泉 ・丹澤
		富士川町鰯沢 340-1	
山梨西部広域環境組合	・市川三郷町 ・韮崎市 ・北杜市 ・中央市 ・身延町 ・富士川町 ・南アルプス市 ・甲斐市 ・早川町 ・南部町 ・昭和町	・ごみ処理施設設置に関する事務の共同処理	・丹澤
		中央市藤巻2303-2	

表紙(1P)

- 桜の季節を表現したかったと思うが、少し霞んでいて色彩が弱かった。

条例の制定・改正(2P)

- 読みやすく分かりやすくまとまっていた。分かりにくい言葉も注釈があり良かった。

一般会計補正予算(3P)

- 予算の補正に関することであることから何にどのように使われたのか知りたいので、グラフを使用するのであれば額の増減も大切ですが分配割合を表示するため円グラフが良い。
- 色で分類され文字も入り一見みやすいのですが、挿絵などがあるとよりよかったのかなと感じます。

一般会計当初予算(4~5P)

- これまでと違った標記になっており、見やすく感じました。P4増減率、一般会計からの繰入額、町債額等分かりやすい。P5前年、前々年との比較も分かりやすい。
- グラフ化され内訳が分かりやすくなった。

常任委員会の報告(6~7P)

- 注釈が記載されていて、特に大塚古墳は写真付きで興味深く読みました。専門用語は関わりのある人たちにはわかと思いますが、一般的には説明があれば読解力が増してきます。

組合議会の報告(8P)

- 良く説明されています。(専決、承認、可決)もう少し大きな字で説明された方が良い。
- どんな委員会があるのか、組合があるのか、どんなスケジュールで開かれているのかわからない。

一般質問(9~14P)

- 議員名にはルビをしてください。質疑の色分けは見やすくて良いのですが、号ごとに色を変えなくても年度単位で統一した方が良い。
- 注釈の記載順序は質問の流れと同じ順序で記載してほしい。

審議結果・討論・請願(15P)

- 賛成多数の場合は賛成反対の全議員名を明記すべき。
- もう少し大きい字の方が見やすい。特に審議結果は小さい字で読みにくい。

みんなのページ(16P)

- ホットなサロンの情景や貴重な「御幸祭」の写真などがありよいページになっている。



貴重なご意見をもとに、議会情報を正確に、わかりやすく、町民の皆様にお伝えできる議会だよりを目指しています!!

次回定例会は令和3年9月に予定されています。

◆6月定例会の傍聴実績(のべ人数)
本会議 21人 委員会 23人

◆会議録検索システム利用件数
令和3年4月から令和3年6月まで
19,553件

※町のホームページから議会本会議の会議録の閲覧ができます。検索機能もあり便利です。ぜひご利用ください。

◆お問い合わせ
議会事務局 TEL 055-272-1108

審議結果 第2回定例会(6月3日~16日)

報告 2件 (令和2年度)	結 果
一般会計繰越明許費繰越計算書	
国民健康保険特別会計直営診療施設勘定繰越明許費繰越計算書	

専決処分の承認 6件	結 果
税条例等中改正	承認 全会一致
都市計画税条例中改正	承認 全会一致
令和2年度一般会計補正予算(第16号)	承認 全会一致
令和3年度一般会計補正予算(第1号)(第2号)	承認 全会一致
令和3年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	承認 全会一致

条例改正 4件	結 果
税条例中改正	可決 全会一致
国民健康保険税条例中改正	可決 全会一致
国民健康保険条例中改正	可決 全会一致
介護保険条例中改正	可決 全会一致

補正予算 9件 (令和3年度)	結 果
一般会計補正予算(第3号)(第4号)	可決 全会一致
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決 全会一致
介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
簡易水道特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決 全会一致

請願 1件	結 果
中学校で使用する歴史教科書の採択に関して 市川三郷町教育委員会の指導強化を求める請願	採択 賛成多数

その他の議案 3件	結 果
農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることにつき同意を求める	同意 全会一致
農業委員会委員の選任につき意見を求める	同意 全会一致
人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める	適任 全会一致

請願

●中学校で使用する歴史教科書の採択に関して市川三郷町教育委員会の指導強化を求める請願

請願人
教科書採択の適正化を求める
県民の会
代表 小澤源七老

紹介議員

秋山 豊彦
松野 清貴
秋山 詔樹

(賛成) 秋山 豊彦議員

過去に県議会でも採択され、内容は紹介議員で精査している。

人事

●人権擁護委員
網倉きぬ子氏(葛籠沢)

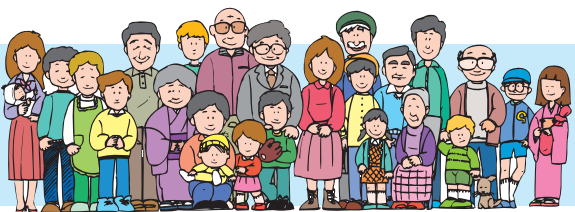
●農業委員会委員
網倉秀太郎氏(宮原)

一ノ瀬 早苗氏(高田)
遠藤 正仁氏(市川大門)
乙黒 一史氏(天塚)
小林 氏(天塚)

小 林 輝光氏(山保)
塩 島 晴久氏(下大島塚)
鈴木 正彦氏(上野)
丹 沢 氏(黒野)
望 月 氏(楠野)
山 本 氏(上野)
渡 邊 氏(大塚)
渡 邊 氏(大塚)

(賛成7 反対5)

みんなのページ



認知症になっても、ほっこり楽しめる居場所であり、生き甲斐を持って生活していきたいと、2017年から毎月1回開催しています。

当番が知恵をしばり、出前講座で学び、手芸、料理、認知症予防ゲームなどで楽しんでいます。

代表 遠藤 京子



- 日 時 第1月曜日 13:30～15:00
- 会 場 NPO法人 「みんなの広場」
- 参加費 100 円

ほっこりカフェみさと
(市川大門)



青洲高校名の由来となった「青洲文庫」内部

「青洲文庫」の扁額（へんがく）は初代内閣総理大臣伊藤博文による揮毫（きごう）。渡邊家3代にわたって収集した10万冊にもおよぶコレクションの一部は大正13年に東京大学に譲渡されました。



青洲高校図書館に飾られた扁額のレプリカ

歴史深い校名を身近に感じながら、文学に親しんだり科学を探究したりする生徒が増えるように、レプリカ制作を計画し、昨年11月に東京大学総合図書館を訪問して写真に収め、制作されました。

（「青洲高校通信」令和3年2月号より）

議会広報編集特別委員会
委員長 小川 好一
副委員長 秋山 豊彦
委員 川崎 充朗

無観客のオリンピックで学校連携観戦プログラムもほぼキャンセルとなり、子ども達が会場で大会を体感できないことは残念ですが、海の向こうの大谷翔平選手の活躍と共に、東京でのトッパスリートの熱戦と、運営に関わるスタッフの皆様方の熱意に、心からの声援を送りたいと思います。

（記 笠井 雄一）

編集後記

梅雨の晴れ間の6月26日、本町に初めての聖火リレーがやってきました。3月25日に福島をスタートして列島を縦断したアテネからの火を、町内の3名と併せ5名のランナーがにこやかにトーチで繋ぎました。